

原城跡の今後の展望、戦略は

現在、PR動画の制作中であり、様々な媒体で発信して知名度アップを図っていく。

市長



中村 哲康 議員

通学路の安全対策について

議員 現在、児童や生徒

が通学路に使用している道において、危険があると思われる箇所は、どの程度あるのか。また、南島原市内の全児童・生徒が使用する通学路において、その全ての危険箇所を市は把握しているのか。

教育長 各小・中学校に

おいては、毎年度、定期的に教職員が通学路安全点検を行っており、必要に応じてPTAと連携しながら危険箇所を把握し

農業振興について

議員 農林課に農業戦略

班が設置されているが、農業戦略班はどのような活動をしているのか、また、どのような成果を上げていくのか。

農林水産部長 農業戦略班

の活動と成果としては、新規作物では、深江町でバナナの栽培を取り組まれている農業法人を支援しており、今月中にはバナナの植栽が始まる予定である。次に、6次産業

ている。また、教育委員会においては、道路管理者、警察、防災担当部局などと南島原市通学路安全推進会議を組織し、市内の小・中学校区を4地区に分け、毎年度1地区を対象に通学路の合同点検を実施し、危険箇所を把握している。なお、南島原市通学路安全推進会議で把握した危険箇所は、平成28年度以降78か所で、このうち43か所、55%については、既に対策が講じられている。

化とブランド化の推進では、平成30年度は6次産業化の補助を行った事業件数ゼロ件に対して、令和元年度は5件の実績を上げていく。次に、スマート農業では、昨年度、市単独事業として農業者の環境制御機器導入に対する補助制度を創設したところである。また、本年度は農林水産省のスマート農業実証プロジェクトの採択を受け、アスパラガスの収穫や選別をAIやロボットを用いることで、業務省力化や生産性の向上を構築できるように関係団体と取り組んでいるところである。



バナナの栽培（深江町）

市政を問う



吉岡 巖 議員

議員 一般質問の前に、

布津グラウンドの改修については、市長もご存じのとおり、ここ二十年来子供たちや一般も、砂ぼこりの中で練習や試合を行っていた。この度、市長の理解を頂き、散水施設が完成したことによ

布津町の花火大会について

議員 打ち上げに際し、

どのような指導をしているのか。

市長 市内では毎年夏に

なると花火を打ち上げられているところが数か所あるが、この打ち上げ花火の実施については、消防署等の指導に従って、安全に留意をしていた。こと、また地元関係者の同意を得られていることを前提に実施をしていただいているという状況である。

議員 今回、その大会を

実施する布津町実行委員



散水栓試運転の様子（布津グラウンド）

会の会長と、高校を退職した先生が、文書だけを漁協に持って来られた。今までが実施計画をちゃんとせざるやっていたため、花火の燃えかすが船に落ちたことなどにより、これじゃ不十分である、何で実施計画を持つてこないのかということになり、漁協役員会としては承諾できないということになったため断ったところ、地元議員と私の仲が悪いから花火大会はさせないと言いつらされた。しかし、燃えかすが船に落ちないようにしたり、転落防止策をしたり、ちゃんと実施計画を作成して持って来られれば、反対する理由はないと考えている。

地域振興部長 イベントの

実施については、必ず地元の関係機関の了解を得ていただくということが前提になっており、まずはその地元の了解を得ていただくというような指導を行っている。

